

和歌山大学・観光学部

海外インターンシップ・ハワイ研修

期間： 2009年 2月16日 ～ 3月15日

第1週 & 2週： (2月16日 ～ 3月1日)

2月16日(月) 21:00 関空 ⇒ 09:05 ホノルル (NW 016)

ハワイ大学マノア・キャンパスにて英語研修 及び
TIM (Tourism Industry Management) School における受講。

担当教官： ラッセル・ウエノ教授、他

第3週： (3月2日 ～ 3月8日)

オアフ島をベースとする研修プログラム

- ・ 事前研修における DVD 講義「ハワイの観光開発」(ウエノ教授)の内容を、それぞれの現地に出向き実体験する。

ワイキキ・ビーチの乱開発 ⇔ マスタープランによる開発の比較
ハナウマ・ベイにおける環境保護対策とその運営
アコモデーション・ミックスを学ぶ見学
高級リゾートホテルのオペレーション体験
開発に伴うマイナス面としての交通渋滞などの現状視察

JTB ハワイのオペレーション体験

ツーリストとしてのハワイとローカルとしてのハワイの比較

地元の日常生活の体験を通し次世代観光の方向を探る、他

★ オアフ島滞在中の宿舎は： ハワイ大学 イーストウエストセンター 寄宿舍

第4週： (3月9日 ~ 3月15日)

3月9日(月) 10:20 ホノルル ⇒ 11:03 ハワイ島・コナ (HA 117)

ジンジャー・ヒル・ファームをベースとする研修プログラム

指導担当： マユミ・オダ 先生

著名な芸術家であり、同時に国際的な環境・世界平和アクティビスト、
ハワイ島メイヤーへのアドバイザーとしても知られるオダ先生の指導
の下、スローライフ、スローツーリズム、エコツーリズムの基本となる
理念を実体験する。

オーガニック・ライフの体験

エコ・ライフの体験

ファームでの仕事体験

ハワイの文化・精神性の体験 (古典フラ、他、ネイティブ文化を学ぶ)

環境活動家の指導によるエコロジーツアー体験 (海的环境)

マウナ・ケア火山・山頂 (標高 4,200m) で日没・星空の観測を体験



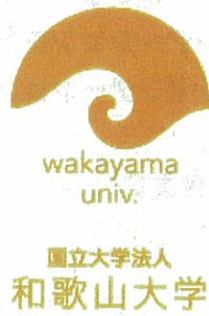
大手旅行代理店によるツアーと地元小規模旅行者によるツアーの
内容・傾向・質の比較・学習

★ ハワイ島滞在中の宿舎は： ジンジャー・ヒル・ファーム リトリート・センター

3月14日(土) 08:37 ハワイ島・コナ ⇒ 09:17 ホノルル (HA 117)

13:25 ホノルル ⇒ (NW 015)

3月15日(日) 18:40 関空



和歌山大学 観光学部

エクステンション講座のご案内

■ はじめに

今、観光人材に育成にとって、本学が期待されているのは、リーダーとして活躍する人材であり、そこで育成すべきもっとも重要な能力の一つが、高い外国語運用能力です。本学では、学生の意欲と学力に応じて国際インターンシップや海外協定校のディスタンス教育をはじめ、様々なプログラムを提供しています。そのプログラムの一環として、通常の英語授業とリンクした英語コミュニケーション講座や資格対策として TOEFL テストや TOEIC テストの対策講座を実施し、高い語学運用能力を備えた人材の育成を目指しています。尚、本講座の実施運営は和歌山世界交流教育研究協会 WATER (Wakayama Association of Transcultural Education and Research) (株) により行われます。WATER は和歌山大学観光学部はじめ地域の語学教育、海外研修などに関する教育研究を振興するために設立された協会です。

和歌山大学観光学部

■ エクステンション講座の概要

エクステンション講座では学部の授業でカバーしきれない英語運用能力を補完する内容を展開します。そのために選りすぐられた講師が指導に当たります。大学キャンパスに居ながらにして、リーズナブルな代金で本格的な訓練を受けることができるのが特色です。

1年生では Tourism (観光入門) の内容を英語で学び、考えていきます。学部で指導される観光に関する知識を英語でも考え、表現できるように訓練します。この講座に使用するテキストはアメリカのハワイ大学観光産業経営学部でも使われています。高価でもあり、入手が難しいので各自1年間貸し出し方式で使用します。後輩のためにも、大事に使ってください。

併せて、ビジネス界で評価される英語検定テストの TOEIC テストと、海外留学に欠かせない TOEFL テストの指導を行います。

2年生になると、英語で行われる授業や3年生で参加する海外インターンシップの準備が始まります。そのためにエクステンション講座では英語でのプレゼンテーションを中心にした指導が行われます。海外で日本人が最も戸惑うのが英語でのプレゼンテーションですので、しっかり訓練を受けましょう。一生の財産になります。

また、希望者は引き続き TOEFL 講座および TOEIC 講座を受講できます。

■エクステンション講座の組み立て

1 年生前期		1 年生後期 (1 週間 4 コマ)	
コミュニケーション I、II (Tourism)		コミュニケーション III、IV (Tourism)	
TOEFL I		TOEFL II	
TOEIC I		TOEIC II	
2 年生前期		2 年生後期 (1 週間 3 コマ)	
コミュニケーション V (Presentation)		コミュニケーション VI (Presentation)	
TOEFL III		TOEFL IV	
TOEIC III		TOEIC IV	

■受講料金、申込

受講料金の振込を以て、申込手続きに代えさせていただきます。

☆受講料金：100,000 円 (すべての講座の受講料金、TOEFL ITP テスト 1 回受験料、消費税を含む)

☆受講料金振り込み期間：4 月 6 日月曜日～4 月 10 日金曜日

☆振込先：三菱東京UFJ銀行 和歌山支店(497)

普通口座 0011688

口座名義 和歌山世界交流教育研究協会株式会社

※振り込みの際の氏名は必ず学生氏名で手続き下さい。

※振り込み手数料は各自ご負担お願いいたします。

■講座開講期間

申し込み期間後、4 月 15 日水曜日より、各講座 1 3 週の開講です。

通常授業の第一週および、テスト期間中は開講いたしません。

21年度前期

科目名		担当教員	受講者数	備考
茶道論A	月3	加多明美	21	
	月4		19	
茶道論B	水2	山田昭子	24	
	水3		15	
華道論	水2	藤井多恵子	28	/
着物文化論	水3	藤井多恵子	54	
	水4		61	
伝統芸能論	木3	木津川 計	542	観 89名
日本語作法 I		榎本正純	89	観 58名

2008年度 内閣府 《地域再生システム論》開設の概要

後期集中：大学生(2単位) 社会人:履修認定証 単位認定教員: 佐々木壮太郎

開催日	時間	内容(プログラム)	概要(100文字以内)	担当者(依頼予定者)
2/10(火)	1時限 15:00 ~16:30	※ ガイダンス (1) 本学観光学部の開設と地域再生	10分以内の概要説明	観光学部 佐々木壮太郎 准教授 小田 章学長 大橋昭一学部長
	2時限 16:40 ~18:10	(2) 地域再生の政策的展開 (地域と大学等との連携)		内閣府地域再生事業推進室 企画官 木村 俊昭
	3時限 18:20 ~19:50	(3) 地域再生論入門		東京大学大学院教授 神野直彦
2/11(水) 祝日	1時限 13:00 ~14:30	(4) 地域再生への行政の取り組み		和歌山県知事 仁坂吉伸
	2時限 14:40 ~16:10	(5) 地域再生の可能性について ~社会改革の視点から~		大阪府立大学特別教授 橋爪紳也
	3時限 16:20 ~17:50	(6) 観光政策と地域再生		観光庁長官 本保 芳明
2/12(木)	1時限 13:00 ~14:30	(7) 地域資源の観光資源への展化 と地域再生		西日本旅客鉄道㈱ 和歌山支社長 辻子 義則
	2時限 14:40 ~16:10	(8) 文化・歴史と地域再生		高野山大学教授 山陰 加春夫
	3時限 16:20 ~17:50	(9) 経済・産業と地域再生		内閣官房地域活性化統合事務局 参事官 河本光明
2/13(金)	1時限 13:00 ~14:30	(10) 農林水産業と地域再生		観光学部 藤田武弘教授
	2時限 14:40 ~16:10	(11) 地域づくりと地域再生		生涯学習教育研究センター 村田 和子准教授
	3時限 16:20 ~17:50	(12) 地域再生への大学の取り組み ~大学の地域貢献~		観光学部教授 大津正和
2/14(土)	13:00 ~14:30	(13)シンポジウムⅠ ミニミニトーク(1)地域再生と行政		和歌山県伊都振興局長 北田佳秀
		(13)シンポジウムⅠ ミニミニトーク(1)地域再生と行政		観光学部 特任教授 戸塚 敦子
		(13)シンポジウムⅠ ミニミニトーク(2)地域再生と経済		株式会社 オカヘイ本店 代表取締役社長 岡田義典
		(13)シンポジウムⅠ ミニミニトーク(2)地域再生と経済		経済学部准教授 竹内哲治
		(13)シンポジウムⅠ ミニミニトーク(3)地域再生と教育・文化		附属中学校教諭 山本 茂子
		(13)シンポジウムⅠ ミニミニトーク(3)地域再生と教育・文化		観光学部教授 米山龍介
	14:40 ~17:50	(14)シンポジウムⅡ ミニミニトーク(4)地域再生と民活~NPOの視点で~		生涯学習教育研究センター 教授 堀内秀雄
		(14)シンポジウムⅡ ミニミニトーク(4)地域再生と民活~NPOの視点で~		観光学部准教授 佐々木壮太郎
		(14)シンポジウムⅡ ミニミニトーク(5)地域再生と県民、学生、高校生の声		観光学部准教授 竹林浩志
		(14)シンポジウムⅡ ミニミニトーク(5)地域再生と県民、学生、高校生の声		観光学部学生 2名(2年生)
		(14)シンポジウムⅡ ミニミニトーク(5)地域再生と県民、学生、高校生の声		星林・高校生 1名(2年生)
		(14)シンポジウムⅡ ミニミニトーク(5)地域再生と県民、学生、高校生の声		桐蔭・高校生 1名(2年生)
		(14)シンポジウムⅡ ミニミニトーク(5)地域再生と県民、学生、高校生の声		向陽・高校生 1名(2年生)
		(14)シンポジウムⅡ ミニミニトーク(5)地域再生と県民、学生、高校生の声		
	(14)閉会式		関係者	

和歌山大学 観光学部

《地域インターンシップ計画 (Regional Internship Plan=RIP)》について！

[計画の目的・趣旨]

RIPの目的は、観光振興による地域再生モデルを構築するとともに観光学部学生の地域再生に資する能力開発を行うことである。RIPとは、教員及び学生が多様な地域住民との対話を通じ、地域の様々な資源を掘り起こしそしてそれらを観光資源に転化することを通じて地域再生を図ろうというものである。以下の手順で実施する。

1. 様々な年齢層の住民との対話。
 - * 10～20代…学生
 - * 30～40代…職業人
 - * 50～60代…老年層
 - * 70代以上…高齢者
 - 高齢者の役割が肝要…温故知新の精神…60～100年前の地域の姿を掘り起こすことを通じてその地域の伝統と歴史を喚起…そこから新たな展開が始まる。
2. 様々な業種の従事者との対話。
 - * 地域の特殊性を反映。
 - * 行政。
 - * その他
3. 上記対話を通じて地域の様々な資源の掘り起し。
4. 掘り起こされた資源の観光資源への転化の可能性。
5. 新たな及び既存の観光資源の振興による地域再生モデル(BM)の構築。

(1)過去と現在の地域資源を未来と融合させることによる地域 資源の付加価値化

- (2)新たな観光資源の創出
- (3)新観光資源のマーケティング化
- (4)インフラ整備(ソフトとハードの融合)
- (5)観光人材の育成…高等教育の役割
 - * 観光エグゼグティブ
 - * 観光プロデューサー
 - * 地域プランナー

以上、地域との対話と大学での教育を融合することによって真の観光人材の育成が可能となる。観光ビジネスモデル・地域再生モデルの構築には人材育成が不可欠である。

[計画の実施]

1. 実施日時：夏季休暇 8月下旬～9月末
春季休暇 2月下旬～3月末
2. 実施期間：3日～5日程度
3. 参加者数：一地域 5名程度
4. 大学側からの要望事項：
 - (1)必要経費負担
 - ・宿泊代(農家民泊、漁村民泊他)…地域負担
 - ・交通費(バス代等)…地域負担
 - ・その他の経費…大学又は個人負担
 - (2)交流の場の提供(不使用の小学校等、公民館、役所他)
 - (3)地域の参加者
 - ・行政関係者
 - ・議会関係者
 - ・企業関係者(会議所、商工会等)
 - ・農林水産業従事者
 - ・高齢者(60才以上)
 - ・一般住民の方
 - ・その他
 - (4)その他

平成20年度《地域インターナショナルシップ》RIP計画

平成21年3月31日現在

	市町村名	担当課・役職・氏名	担当教員	★実施日程及び予定	学生参加人数
1	有田川町役場	清水行政局産業課長 前 守	◎出口、北村	20年度実施 時期 H21.2.16-18	5名
2	湯浅町役場	まちづくり課 吉川	◎出口、西村	21年度実施予定	
3	橋本市役所	商工観光課 課長補佐 中尾忠央	◎山田、堀田	21年度実施予定	
4	かつらぎ町役場	産業観光課 課長	◎神田、加藤	20年度実施 時期 H21.3.17-19	10名
5	紀の川市役所	粉河支所 商工観光課 宮本麻里	◎竹田、大橋	21年度実施予定	
6	紀美野町役場	産業課 芝尾和希	◎尾久土、米山	21年度実施予定	
7	有田市役所	企画室企画係 谷輪	◎小畑、廣岡	21年度実施予定	
8	日高川町役場	産業振興課 専門員 山下泰三	◎大浦、神田	20年度実施 時期 H21.2.18-2.19、3.23	9名
9	田辺市役所	産業部産業政策課 山本良明	◎藤田、澤田	20年度実施 時期 H21.2.16-2.17、2.26-3.1	9名
10	上蔵田町役場	総務政策課まちづくりグループ 芝 健治又は坂口	◎竹林、田中	20年度実施 時期 H21.2.11～13及び3.5-6	4名
11	すさみ町役場	産業建設課 町塚敦夫、総務課 岩田さん	◎出口、中串	20年度実施 時期 H21.2.22-2.24	5名
12	串本町役場	観光課 副課長 浜地弘貴	◎竹鼻、佐々木	21年度実施予定	
13	那智勝浦町役場	総務課 喜多 直、産業振興課副課長 滝本 勇治	◎東、竹林	21年度実施予定	
14	太地町役場	総務課	◎東、加藤	21年度実施予定	

◎主担当

1. 教養・基礎科目

1.1. 必修科目

授業科目名	単位	担当教員	備考
観光入門	2	廣岡ほか	
情報基礎演習	2	時間割を参照	
基礎演習 I	2	時間割を参照	
基礎演習 II	2	時間割を参照	

1.2. 選択必修科目(日本文化科目)

授業科目名	単位	担当教員	備考
茶道論A	2	時間割を参照	
茶道論B	2	時間割を参照	
華道論	2	時間割を参照	
着物文化論	2	時間割を参照	
伝統芸能論	2	木津川計	
日本語作法 I	2	榎本正純	
日本語作法 II	2	笠野衣美	

1.3. 選択科目

1.3.1. 観光分野

授業科目名	単位	担当教員	備考
世界の観光・日本の観光	2	佐藤崇雄	
現代の観光	2	佐藤崇雄	
熊野古道と世界遺産	2	坪井恒彦	
わかやま学 -熊野学-	2	【本年度休講】	
わき道の紀州学	2	【本年度休講】	
和歌山の歴史と文化	2	小山譽城	
マリンスポーツと和歌浦の海	2	藤永・岩田	
観光と色彩	2	北村元成	
景観論入門	2	坪井恒彦	
観光学基礎	2	【本年度休講】	
生活文化とホスピタリティ	2	【本年度休講】	

観光と航空ビジネス	2	木沢誠名	
-----------	---	------	--

1.3.2. 総合分野

授業科目名	単位	担当教員	備考
職業社会と資格制度	2	佐藤史人	
ジェンダー論	2	金川めぐみ	
国際化時代の文化と思想	2	内田ほか	
大学生の読み書き I -読解・論述の基礎-	2	河音琢郎	
社会環境学	2	日下ほか	
自然環境学	2	中島ほか	
大学を考える	2	小畑力人	

1.3.3. 人文分野

授業科目名	単位	担当教員	備考
社会哲学	2	【本年度休講】	
哲学	2	天野雅郎	
心理学	2	米澤好史	
美術史	2	高橋健一	
音楽学	2	泉健	
ことばと文化	2	【本年度休講】	
音楽プロデュース基礎論	2	【本年度休講】	
現代マスコミ論	2	小関道幸	臨設
現代政治論	2	篠原文也	臨設

1.3.4. 社会分野

授業科目名	単位	担当教員	備考
日本国憲法	2	森口佳樹	
社会科学方法論	2	内田みどり	
経済学の考え方	2	阿部秀二郎	
ミクロ・マクロ経済学入門	2	岡部美砂	
経営学	2	吉村典久	
経営の国際比較	2	大橋昭一	

マーケティング論	2	佐々木壮太郎	
統計学	2	松田忠之	
法律学概論	2	金川めぐみ	
企業の仕組み	2	【本年度休講】	

1.3.5. 自然分野

授業科目名	単位	担当教員	備考
数学A I	2	片岡啓	
生活科学	2	細谷圭助	
現代のIT -情報科学入門-	2	情報通信システム 学科教員	
デザインのある生活	2	シス工教員	
簿記原理	2	土田俊也	

2. 共通科目

2.1. 外国語

2.1.1. 第1外国語

授業科目名	単位	担当教員	備考
英語 I	2	時間割を参照	
英語 II	2	時間割を参照	
英会話 I	2	時間割を参照	
英会話 II	2	時間割を参照	

2.1.2. 第2外国語

授業科目名	単位	担当教員	備考
英語 III	2	時間割を参照	
英語 IV	2	時間割を参照	
英会話 III	2	時間割を参照	
英会話 IV	2	時間割を参照	
ドイツ語 I	4	時間割を参照	
ドイツ語 II	4	時間割を参照	
フランス語 I	4	時間割を参照	

フランス語 II	4	時間割を参照	
中国語 I	4	時間割を参照	
中国語 II	4	時間割を参照	
中国語会話 I	2	【本年度休講】	
中国語会話 II	2	時間割を参照	
ハングル I	4	時間割を参照	
ハングル II	4	時間割を参照	

2.2. スポーツ健康科目

授業科目名	単位	担当教員	備考
保健体育講義 -健康とスポーツの科学-	2	富田耕太郎	
保健体育実技A	1	時間割を参照	
保健体育実技B	1	時間割を参照	

3. 専門教育科目

3.1. 専門基礎科目

3.1.1. 学部共通(必修)

授業科目名	単位	担当教員	備考
ホスピタリティマネジメント	2	竹田明弘	
観光学総論	2	大津正和	

3.1.2. 学部共通

授業科目名	単位	担当教員	備考
世界観光事情	2	帯野久美子	
日本観光事情	2	廣岡裕一	
観光関連法規	2	【本年度休講】	
マーケティング・リサーチ	2	大津正和	
映像文化論	2	【本年度休講】	
環境倫理	2	加藤久美	
観光と天気	2	中串孝志	
航空ビジネス入門	2	太田勉	臨設

3.1.3. 観光経営学科

授業科目名	単位	担当教員	備考
観光経営論	2	大津正和	
観光人類学	2	出口竜也	
観光マーケティング論	2	【本年度休講】	
商業簿記	2	川端保至	
産業ホスピタリティ学入門	2	太田勉	臨設

3.1.4. 地域再生学科

授業科目名	単位	担当教員	備考
観光政策	2	神田孝治	
都市と農村	2	山田良治	
地域再生マネジメント	2	堀田祐三子	
森林資源利用論	2	大浦由美	
中山間地域再生論	2	【本年度休講】	
国際社会学	2	【本年度休講】	

3.2. 専門コア科目

3.2.1. 学部共通

授業科目名	単位	担当教員	備考
課題演習	4	—	各教員担当
外国語文献講読[英語]	2	大浦・堀田	
外国語文献講読[独語]	2	川端保至	
外国語文献講読[仏語]	2	竹林明	
外国語文献講読[中国語]	2	方愛郷	
レジャー論	2	神田孝治	
観光デザイン論	2	北村元成	
観光人材論	2	竹林明	
観光英語	2	帯野久美子	
観光中国語	2	【本年度休講】	
観光カリスマ論	2	小畑力人	
観光と宇宙	2	尾久土正己	
観光文化論	2	竹鼻圭子	

ハワイの観光開発	2	東ほか	臨設
海外観光地研究	2	青木義英	臨設
商品(旅)企画研究	2	青木義英	臨設
航空ビジネス論	2	太田勉	臨設
文化公共財の観光資源化	2	もず唱平	臨設

3.2.2. 観光経営学科

授業科目名	単位	担当教員	備考
観光戦略論	2	竹林浩志	
国際観光論	2	出口竜也	
リーダーシップ論	2	【本年度休講】	
意思決定論	2	竹林浩志	
観光行動論	2	出口竜也	
観光統計	2	大井 達雄	
ホテルマネジメント	2	北原洋司	
サービスマネジメント	2	大津正和	
ヒューマンサービスマネジメント	2	竹田明弘	
観光リスクマネジメント	2	【本年度休講】	
ブランド論	2	佐々木壮太郎	
消費者心理学	2	佐々木壮太郎	
企業会計	2	川端保至	
企業税務	2	【本年度休講】	
観光産業論	2	廣岡裕一	
観光と医療	2	竹田明弘	
観光実務ケーススタディ	2	北原洋司	
バリアフリー観光	2	【本年度休講】	
証券市場論	2	西村尚剛	
金融システム論	2	西村尚剛	
高等教育と観光人材育成論	2	小畑力人	
サービスと観光の経営学	2	【本年度休講】	
航空産業論	2	木沢識名	

宿泊産業概論	2	北原洋司	
産業ホスピタリティ学	2	太田勉	

3.2.3. 地域再生学科

授業科目名	単位	担当教員	備考
地域再生とNPO	2	堀田祐三子	
地域防災論	2	【本年度休講】	
地場産品・観光物産の生産と流通	2	【本年度休講】	
地域緑資源論	2	大浦由美	
グリーン・ツーリズム論	2	藤田武弘	
森林レクリエーション論	2	【本年度休講】	
地域資源論	2	藤田武弘	
地方行政論	2	澤田知樹	
地方分権と地域再生	2	澤田知樹	
地域情報ネットワーク	2	田中豪	
地域情報発信論	2	田中豪	
地域マネジメントケーススタディ	2	北田佳秀	
観光と地域再生	2	【本年度休講】	
住まい・街づくり論	2	山田良治	
空間経済学	2	山田良治	
観光国土学	2	大石久和	
観光地計画論	2	神田孝治	
観光社会学	2	神田孝治	
社会調査法	2	【本年度休講】	
Environment & Culture	2	加藤久美	
Intercultural communication	2	加藤久美	
文化交流	2	竹鼻圭子	
ミュージアムマネジメント	2	尾久土正己	
観光と音楽	2	米山龍介	
音楽プロデュース実践論	2	米山龍介	
地域文化交流史	2	【本年度休講】	

観光コンテンツ論	2	【本年度休講】	
科学コミュニケーション論	2	中串孝志	

3.3. 専門支援科目

3.3.1. 学部共通

授業科目名	単位	担当教員	備考
民法 -総則-	2	吉田雅章	
観光学部インターンシップ A	1	-	
観光学部インターンシップ B	2	-	
観光学部インターンシップ C	4	-	
観光学部インターンシップ D	6	-	
観光学部インターンシップ E	8	-	
観光学部自主演習 C	1	-	各教員担当
観光学部自主演習 D	1	-	各教員担当
観光学部自主演習 E	1	-	各教員担当
観光学部自主演習 F	1	-	各教員担当

3.3.2. 観光経営学科

授業科目名	単位	担当教員	備考
経営学総論	2	高岡伸行	
人的資源管理論	2	【本年度休講】	
企業倫理論	2	高見直樹	
競争戦略論	2	吉村典久	
日本の経営論	2	高見直樹	
交通システム論	2	辻本勝久	
ファイナンス I	2	内田浩史	
ファイナンス II	2	内田浩史	
会社法 -商法[会社総論]-	2	清弘正子	
保険論 -社会保険関係法-	2	【本年度休講】	
行政法総論	2	【本年度休講】	

3.3.3. 地域再生学科

授業科目名	単位	担当教員	備考

中心市街地再生論	2	足立基浩	
都市政策	2	大泉英次	
政策評価論	2	河音琢郎	
地方財政論	2	稲垣秀夫	
地域居住福祉論	2	金川めぐみ	
政策統計解析	2	足立基浩	
公益事業論	2	中村太和	
地域再生と社会教育	2	山本健慈	
都市計画	2	濱田学昭	
地域環境管理	2	金子泰純	
地域計画	2	日下正基	
生活環境システム	2	宮川智子	
緑地環境学	2	養父志乃夫	
森林環境学	2	中島教司	
環境緑化法	2	山田宏之	

3.4. 専門演習・卒業論文

授業科目名	単位	担当教員	備考
専門演習Ⅰ	4	—	各教員担当
専門演習Ⅱ・卒業論文	8	【本年度休講】	

日本の観光産業の将来展望！

和歌山大学長 小田 章

(1) 日本人の観光欲求を実現するための策

- * 日本人の観光欲求は非常に高い…欲求充足に必要なこと
- * 地域資源の発掘・認識・創造・精査…観光資源への転化
《RIP》(Regional Internship Plan) による「地域資源開発」
 - ・「日常」の「非日常」化
 - ・「温故知新」の実践…故き資源の見直し
 - ・地域間連携の推進…「協争」(Collabo-Petition)
- * 低料金策；・高価な国内旅行←→安価な海外旅行！
 - ・土日・休日を可能な限り廉価に…中年世代の家族旅行の奨励…低料金でリピーター確保…「損して得取れ」！
 - ・観光客満足調査…ニーズに合った施策…リピーター確保
 - ・観光地及び地域産品に如何に付加価値を付けるか？
 - ・「まちぐるみ」の誘客行動…観光振興は非観光産業の活性化に繋がる
- * インフラ整備
 - ・高速料金の値下げは大ヒット
自家用車は無料
営業車は車の大きさで 1000 ~ 5000 円納入…但し、コスト削減分は製品等価格に反映
 - ・道路・施設等の公共物のハード整備…必要なもの…地方のインフラ整備を早急に
 - ・観光案内等のソフトの整備
- * 休日・休暇制度の変更
 - ・GWの時間差取得
 - ・学校の夏休みの地域別取得
例：東日本…7～8月上旬、西日本…8月中旬～9月下旬
 - ・企業も夏季休暇を考慮する
 - ・休暇を確実に取得すること：例 ドイツの休暇制度 (Urlaub)

(2) 外国人誘客 (インバウンド) の獲得

- * 「日本らしさ」をアピール
 - ・施設…神社、仏閣、城郭他
 - ・宿泊…ホテル、旅館、城、古民家

- ・食・・・日本の食材による和食、洋食、中華
地域独自のレシピの開発・・・100～200年位前の料理
武家料理、大名料理、精進料理等
- ・日本文化・伝統芸能
- * 「おもてなし」の心・・・「道」
- * 観光地案内の表記・・・日本語、英語、中国語、韓国語
- * その他

(3) 人材育成

* 観光人材の育成

- ・ 観光経営の人材・・・観光エグゼクティブ、観光プロデューサー
「観光に関する様々なジャンルに適応することの可能な人材」
- ・ 欧米型「ホスピタリティ」とともに、日本型「おもてなし」を発揮できる人材育成
- ・ 日本文化・芸能を習得し、かつ日本及び世界の歴史に通暁している人材育成
- ・ 観光産業分野で活動している人材のリカレント教育の必要性
- ・ 行政分野への観光人材の輩出・・・観光政策の企画立案・実施の出来る人材
- ・ 国際感覚を持った人材

(4) 観光教育の重視

- * 観光教育の充実には「観光学」の確立が不可欠
- * 外国の観光学・・・「ホスピタリティー学」、「観光客満足」・・・実践型
- * 和大的を目指す「観光学」・・・観光事象は様々な分野に関わっており、諸学の研究対象になる。それ故、究極には諸学融合型「観光学」の確立が必要になる（観光曼荼羅・観光メリーゴーランド参照）。
但し、日本型観光学は「おもてなし」のコンセプトを基本にしている。

